

第六次総合計画 まちづくりの基本方針①

「新しい時代につなぐ豊かな万葉の里・おおひら」をめざして

村の将来を展望したまちづくりの基本理念を達成するため、「第六次大衡村総合計画」が4月からスタートしました。

今後10年間のまちづくりの指針となる5つの基本方針を今月号から5回にわたりご紹介いたします。

まちづくりの基本方針① 「みんなが快適に暮らし続けられるまちづくり」

本村では平成7年に人口が6,000人を超えていましたが、その後人口減少が続き、平成22年では約5,300人まで落ち込みました。

しかし、住宅地開発等により平成27年には約5,700人まで回復し、令和元年では約6,000人となっています。一方で、少子高齢化が進み、地域を担う若い人材の確保が課題となっています。

暮らしやすい生活環境を整えるため、住宅や生活利便施設の整備がしやすくなるような計画的な土地利用を図るとともに、生活サービスを充実させ、安全・安心な暮らしやすいまちづくりに取り組み、若者が住み続けたいくなるよう、定住化を促進し、持続可能なまちづくりを目指します。

また、村外の人に対して、本村の行政サービスやコミュニティ、自然環境等の魅力を発信し、村内への移住・定住につなげる取り組みを進めます。

【主な施策】

◆新交通システムの検討

- ・企業進出に伴い転入してきた世帯や子育て世帯でも気軽に利用できる、デマンドバス、デマンドタクシーなど、新たな交通手段の創出を検討します。
- ・村内の自動車関連企業と連携し、自動運転（無人）の社会実験、高齢者向け小型モビリティの導入などの取り組みを検討します。

◆魅力ある住環境整備

- ・企業進出に伴う職住近接型の住宅需要が高まっており、国道4号及び国道457号沿道については、多様な住居ニーズや今後の住宅需要を踏まえながら、地区計画などの手法により、周辺環境や生活環境と調和した住宅地の形成を図り、住宅供給を推進し、定住促進を図ります。

◆空き家バンクの活用

- ・空き家バンクを活用して、空き家等の情報を広く提供し、村内への定住・移住の促進を図ります。

◆道路網の骨格形成

- ・国道4号の4車線化の整備を促進します。
- ・県道大衡仙台線、県道大衡駒場線整備を促進します。
- ・国道457号、県道仙台三本木線、県道石巻鹿島台色麻線の歩道整備を促進します。



シルバードライバー講習受講料の一部を助成します

村にお住まいの70歳以上の方を対象に、シルバードライバー講習の受講料の一部を助成します。

【シルバードライバー講習とは】

高齢者に対し、ご自分の運転技術を再確認していただくもので、運転免許を更新する際の「高齢者講習」及び「講習予備検査」の練習となるものです。

- ◆対象者 次の①、②の要件をいずれも満たす方。
  - ①村内に居住し、運転免許証をお持ちの方
  - ②受講日当日に年齢が満70歳以上の方
- ◆受講先 富谷自動車学校
- ◆受講料 1人 5,500円（村助成3,000円／自己負担2,500円）  
（講習は3名以上からの開催となります。）



★ご注意！

70歳以上の方が運転免許証の更新に必要となる「高齢者講習」及び75歳以上の方が更新の際に必要な「講習予備検査」の代わりではありません。

◆問い合わせ先 総務課 ☎345-5111

令和元年度万葉バス利用者数



万葉バスの、令和元年度利用者数は、6路線合わせて26,141人でした。  
路線別の運行便数と利用者数は次の通りです。

万葉バス路線別運行便数・利用者数

路線名	年間運行便数	年間延べ利用者数
大森・中学校線	720便	10,523人
大森線	364便	622人
大瓜線	196便	549人
大森・榎田線	200便	242人
衡上・松原線	200便	469人
駒場線	2,556便	13,736人
合計	4,236便	26,141人

万葉バスの運行について

- ◆運行日
  - 大森・中学校線 月～金曜日
  - 大森線 月・金曜日
  - 大瓜線 火曜日
  - 大森・榎田線 水曜日
  - 衡上・松原線 木曜日
  - 駒場線 月～金曜日 第1、3、5土曜日

◆乗車料金

1回の乗車につき100円(中学生以下無料)  
※身体障害者、知的障害者とその介護の方が乗車する場合は、身障者手帳等を運転手に提示することで乗車料金が免除となります。

◆運行経路・運行時刻

役場庁舎ロビー等に備え付けの時刻表、又は村ホームページをご覧ください。

◆問い合わせ先 企画財政課 ☎341-8510